

抱え込まず、洗い流しましょう。そ

して、うれしき思ひ出を振り返り、  
出会えた幸せに感謝いたしましょう。

少し時は要しても、必ず前向きにな  
れる日がやつて参ります。先代チビ  
太が嚴冬の早朝に急逝した哀しみを  
母が申すのですから、嘘はございま  
せん。

乗り越えて楓之典君をお迎えした乳  
母が申すのですから、嘘はございま  
せん。

○ 楓之典君のつぶやき

— ふうには昨日も明日も、過去も  
未来もない也。高僧曰く、「即今当  
処自己」—

豆の町（ビーンタウン）から  
ここにちは（第11回）  
会員家族 住井 円香

■ アメリカの大学の試験期間  
ボストン大学では、夏休み直前と  
なる5月上旬、1週間に及ぶ期末試  
験期間が始まります。専攻によつて

は羨ましいことに試験があまりなく、

4月下旬の最後の授業が終わってし  
まえば実家に戻つたり旅行に出かけ  
るという人もいますが、ほとんどの

学生はファイナル試験に向けて夜遅  
くや早朝まで勉強を続けます。元々  
普段であつても、寮の共用スペース  
ではゲームのマリオカートやビリヤー  
ドを楽しむなど、一晩中活動を続け  
る学生たちが少なくありません。し  
かし試験期間ともなれば、こうした

共用スペースにも私語を慎むよう  
に、ピリピリとした空気が漂います。  
私の周りでは、ずっと部屋で過ご  
していると息が詰まるといった理由  
から、自室以外で勉強をする人も少  
なくありません。また、寮の共同生  
活では、ルームメイトがそれぞれあ  
る程度は部屋を独占できる時間が持  
てるようになるなど、プライバシー  
を重視するためなのか、はたまた傾  
向として積極的に外で活動する外向  
性が求められるからなのか、「ずつ  
と部屋で過ごすルームメイトは好ま  
しくない」とされる風潮もあつて、  
図書館などの共用スペースが人気に  
なつています。

その人気にこたえるように、普段  
は深夜0時まで開館している図書館

は、試験期間中になると24時間学生  
を受け入れ続けています。真偽のほ  
どはわかりませんが、大学のオンライン  
掲示板では、図書館で寝泊まり

した体験も書きこまれていて、  
その投稿者は何事もなかつた、とし  
ていますが、夜遅くまで自室以外で  
勉強する時間が増えると、学内とは  
いえやはり安全にも気を付けたいた  
め、せめて試験期間中だけでも、自

分の部屋で気を遣わずに思い切り勉  
強できる雰囲気が広まればいいなあ  
と個人的には思っています。

また、ほとんど徹夜状態で乗り切  
ることになる期末試験期間は、どの

学生も睡魔と格闘するため、必然的  
にエナジードリンクの人気も高まり  
ます。今春も、試験期間中に図書館  
で勉強をしていると、あちらこちら  
から「ブシュツ」と缶を開ける音が  
聞こえてきました。ごみ箱には、日  
本でも発売されているレッドブルや  
モンスターといった種類のほか、ア

学内のコンビニに取りそろえられ  
てあるエナジードリンクの種類も大

変豊富です。ピーチとラズベリーを  
組み合わせたものから、抹茶味と  
いったものまで、様々な味のエナ

ジードリンクが販売されています。  
体への悪影響や若者のカフェイン中  
毒もメディアで指摘されているので  
すが、それでも良い成績を取ること  
への重圧から睡眠を削らざるを得な  
い試験期間の勉強には欠かせないお  
供となつているようです。

■ 世界中から受けられる夏のオンライン  
授業

新型コロナウイルスの流行から5  
年以上経つた今も、かなりの企業で  
インターネットを利用した在宅勤務  
の併用が継続されているのと同様  
に、アメリカの大学でも教室で行わ  
れる授業を補うようにオンライン  
ツールが活用されています。私の大  
学では、普段からブラックボードと  
いうオンラインのプラットフォーム  
に各授業のページが用意されています。  
担当している教授によつて使い  
方の違いはありますが、シラバスの  
他に指定された論文を読んだり、課  
題を提出したり、復習用に授業のス

ライドショーや観覧できるような仕組みになっています。

大学が用意している夏期講習、夏の授業では、いつもも増してプラットフォームの存在感が大きくなります。この夏休み中の授業としては、世界中のどこからでも受けられるオンライン授業と、大学内でいつもと同じ授業方式の2種類があります。このどちらを選んでも同じ単位数が取得できるため、夏休み期間に研究活動などのために大学に残つても、帰省先の実家に戻っていても、授業を受けることができます。これらは、早期に卒業することや、大学と提携していない場所への留学を考えている学生にとって特にメリットが大きい仕組みかもしれません。

かく言う私も、単位取得を早く進めるため、日本で夏のオンライン授業を受けることにしました。3か月半ある夏休みに用意されているものとしては、7週間ごとの短い学期が二つあり、授業を受けたい学生はどうちらか一つの学期、もしくは両方の学期を受けることができます。ただし、この夏の期間に受けられる授業の数は限られていて、一つの学期につき3授業以上受講することは原則

場合には最大限受講したとしても四つまでしか受けることはできないことがあります。また、オンライン授業の場合、科目により違いはあるものの、アメリカ東部時間の日中に行われる週に1～3回ほどあるオンライン授業に、時差やアルバイトなどにリアルタイムで出席できない学生のために、必ず録画映像がブラックボード上に掲載されています。このブラックボードの掲載内容は、秋・春の通常の学期内では、教授によって多少の差があります。例えば、昨年春学期に私が受講していた中級マクロ経済学のページでは、私の授業を担当していた教授は、実際の試験に似た模擬試験は載せていましたが、他の教授のもとで同じコースを受けていた友人は、

なかつたのですが、他の教授のもとで同じコースを受けていたところでは、科目ごとに掲載内容が統一されました。一方で、どうやら夏の授業では、科目ごとに掲載内容が統一されているようです。そうした仕組みについて詳しい説明はなかつたのですが、シラバスに

夏の授業の開発者として、別の教授が教わる内容にほとんど違いがないように工夫しているのかもしれません。また、夏の授業はどうしても期間が短いため、教える教授側の負担を減らす目的も考えられます。なんとなく、シラバスに開発者の教授が写真付きで載つているのは、トマトなどの農作物がスーパーや農協で売られるときに生産者の顔が一緒に展示されているのとどこか似ています。授業を担当するIT部門のスタッフが紹介され、何か提出時や試験の際にトラブルがあつたときにはブラックボードの授業ごとのページの管理を担当するIT部門のスタッフが紹介され、何か提出時や試験の際にトラブルがあつたときにはこうした担当者に連絡するようにも伝えられます。普段は些細なことでも授業にまつわることであれば教授、もしくは教授を補助するティーチングアシスタン

ト(TA)に質問を行うことが多いのですが、授業を教える教授以外のこうした教職員に、直接または間接的に関わることになるのはとても新鮮な感じを受けました。

夏休みを過ごしながら受けることになる、夏の授業ならではの特徴としては、学生一人ひとりが期日まで授業を教える教授と、授業開発を行なう教授を分けることによって、教授に責任をもつて学習を進めていかなければならぬという点です。私が受講している初級心理学の授業では、教科書以外にもブラックボードに載せられた授業開発者が書いた文書を週ごとに読み進めて、理解した内容を短いエッセイにまとめて、提出することになっています。もちろん毎週行われている1時間半の授業でも大まかな学習内容は網羅されるのですが、猛スピードでの説明となるため、細かい症例が省かれたり、時には時間内で収まりきらずに、次の授業に持ち越されることもあります。そうした環境では、自分から計算的に勉強せざるを得ないところがあり、思いがけず、夏の授業を選択したことが、自身のスケジュール管理の練習になるとも感じました。ただ、ソーシャルメディアという方法ががあるとはいっても、オンラインで同じ授業を受けている学生同士の交流は難しくなるため、普段のようにクラブメイトと気軽に課題を協力し合つたり、ときには愚痴がこぼせる環境が少し恋しいです。